

News Letter

一般社団法人 日本作業療法士協会

地域社会振興部 地域事業支援課 地域包括ケア推進班主催

第2回地域事業支援会議

Vol.2

富山県士会版

第2回地域事業支援会議は、2023年10月7日（土）午後～10月8日（日）の1.5日間、東京と全国をつなぐハイブリッド形式での開催でした。選任者は現地19名、オンライン58名、聴講者はオンライン106名の計183名が参加され、当士会からは佐賀真也（ソフィアメディ訪問看護ステーション射水サテライト高岡）、福田恵津子（公立南砺中央病院）が参加しました。



新体制、最近の動向、目標達成のための戦略

初めに山本伸一会長よりリハビリテーションを取り巻く動向と、協会における渉外活動のご報告をました。次に地域社会振興部 辰己部長より、地域社会振興部の新体制の報告と、地域事業支援課の4つの班（地域包括ケア推進班、運転と地域移動推進班、スポーツ振興班、認知症対策班）が横のつながりを持ちながら、地域共生社会へむけて作業療法の振興に取り組むことについて説明がありました。

最近の動向としては、佐藤理事より自立支援や介護予防が必要となる背景、介護予防・日常生活支援総合事業に関する最近の動き、短期集中C型の活用、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について説明がありました。谷川理事からは地域共生社会5ヵ年戦略のスローガンである「人々の活動・参加を支援し、地域共生社会の構築に寄与する作業療法」を達成するために、地域包括ケア推進班では、現状把握、参画方法の企画推進、周知・共有、組織化、人材育成についての事業を行っていくとのことでした。香山副会長からは、令和5年度地域保健総合推進事業（一般財団法人日本公衆衛生協会「地域保健総合推進事業」の分担事業）について、今年度はPT士会と合同で研修会を開催し、方策検討会議で好事例についてまとめることについて報告がありました。

4つの事業についてグループワークを開催

4つの事業（地域人材育成事業、OT参画のための市町村担当者設置事業、士会マネジメント事業、保健事業と介護予防の一体的実施）について説明とグループワークが行われました。その中から地域人材育成事業とOT参画のための市町村担当者設置事業について内容の一部を紹介させていただきます。

1. 地域人材育成事業

作業療法の専門性を活かして地域支援事業等に参画・マネジメントできる実践者育成を目標に、人材育成カリキュラム作成や認定制度などの検討、新生涯学習制度との紐づけを検討する事業です。

グループワークでは、各士会でどのような研修会・管理を行っているか、作業療法士が地域支援事業等に関わる際に求められる人材像について等の意見交換を行いました。

研修会においては、県士会独自のオンライン動画コンテンツを作成して人材育成を行い、SNSを上手く活用して受講者を管理している県士会もありました。また、POS合同研修やMTDLP研修、認知症研修などにも力を入れている県士会もあり、当士会でも士会内外の横のつながりを活かして今後も人材育成のための企画運営を行っていく必要があると感じました。

2. OT参画のための市町村担当者設置事業

「日本中の隅々まで作業療法を」届けるために1700の市町村に担当者配置を行っていきます。

グループワークでは、配置状況、役割、職場の理解、POS3団体との関係性について意見交換を行いました。

各都道府県の配置状況については、すでに配置済み、未配置、POSとしての配置など様々であったが、役割としてはまだ未確定などところも多く見受けられました。その中でも行政担当者と年1回話す機会を作っている士会もあれば、「総合事業支援員」を士会に配置し、各市町村のバラつきを減らすよう関わっていく体制をとっている士会もありました。当士会は現在全市町村に市町村担当を配置できている状況ですが、今後は行政との連携強化を目指して、各市町村担当との進捗状況の意見交換会などを開催していく予定です。

THE 21TH
TOYAMA OT
CONGRESS & EXPO
第21回



富山県作業療法学会

日時

2024
2/25 SUN

9:40~15:50
ハイブリッド開催
(現地+ZOOM配信)



学会テーマ

共に考え、共に創る、新時代の作業療法
～変わらない本質と磨き続ける技術で示すOTの存在価値～

特別講演

『新時代で活きる作業療法
～OTの今と未来への道しるべ～』

村井 千賀氏 (石川県立こころの病院、日本作業療法士協会常務理事)

一般公開
シナリオ

『eスポーツが示す
地域共生社会の実現と可能性』

パネリスト: 田中 栄一氏

(国立病院機構 北海道医療センター、作業療法士)

濱屋 佑弥氏 (富山県庁 高齢福祉課 地域包括ケア推進班)

堺谷 陽平氏 (株式会社ZORGE(ゾルゲ)代表取締役社長)



講演

教育講演 「病院から出て分かった、地域とわたしたちの見方(味方)」

齋藤 洋平氏 (南砺市地域包括支援センター、富山県作業療法士会会長)

技術講演 「心不全のきほんの『き』～明日から使えるリスク管理」

宮地 竜也氏 (富山大学附属病院、理学療法士)

企画

一般演題・ポスター発表

eスポーツ体験・デモンストレーション、富山県作業療法士会・
富山リハビリテーション医療福祉大学校活動紹介、ミニマルシェ
(CAFEしえる,セーナー苑,久遠チョコレート出店)、企業展示



学会長

佐々木 和也 (富山市民病院)



参加費

作業療法士 2,500円 (日本作業療法士協会又は富山県作業療法士会会員)

他職種 1,000円 作業療法学生 500円 ※上記以外のOT要相談

<主催>

一般社団法人 富山県作業療法士会

<後援>

富山県、富山市、(公社)富山県医師会、(公社)富山市医師会、(公社)富山県看護協会、富山県介護老人保健施設協議会、
(公社)富山県精神保健福祉協会、(一社)富山県理学療法士会、(一社)富山県介護福祉士会、富山県精神保健福祉士協会、
(一社)富山県言語聴覚士会、富山県公認心理師協会、富山県ホームヘルパー協議会、富山県医療ソーシャルワーカー協会、
(一社)富山県介護支援専門員協会、(公社)石川県作業療法士会、(一社)福井県作業療法士会、(一社)日本作業療法士協会

会場

富山県民会館3階
富山県富山市新緑曲輪4番18号

※開会式が会場に行われます

事務局

〒939-2716 富山県富山市婦中町下善田1010
富山西リハビリテーション病院 リハビリテーション科
TEL:076-461-5550/FAX:076-465-5627
<https://toyama-ot.org/gakkai.html>
Eメール:toyama21otgakkai@gmail.com



HP QRコード

LET'S GO

第21回富山県作業療法学会

みどころ案内



CHECK 1

特別講演

講師紹介：村井千賀 先生（石川県立こころの病院、OT）

テーマ「新時代で生きる作業療法～OTの今と未来への道しるべ～」

現日本作業療法士協会常務理事、厚生労働省に出向時代には「生活行為向上リハ加算」の創設に尽力されOTの力と可能性を示し、MTDLPの地盤を築かれました。精神保健福祉、認知症、地域包括ケアなど幅広い専門分野と経験からの講演は必ずや皆さんの背中を押してくれるはずです。

CHECK 2

シンポジウム テーマ「eスポーツが示す地域共生社会の実現と可能性」

ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える「eスポーツ」が世界中で大きな盛り上がりを見せています。オリンピックの新種目としても検討されている一方で、日本では共生社会や健康長寿社会、地域活性化などに貢献できるという様々な領域で取り組みが実践されています。今回様々な立場におけるeスポーツの第一人者である3名によるシンポジウムを企画しました。

シンポジスト紹介



田中 栄一先生（北海道医療センター、OT）

1990年代からコンピュータゲームをリハビリに取り入れてきた第一人者。

筋ジストロフィーなど難病の小児患者が使用するゲーム機器を開発するなど、ゲームアクセシビリティのサポートを実施。2020年一般社団法人ユニバーサルeスポーツネットワークを設立し、サポート対象をシニアにまで広げ、障がいの有無を問わず楽しめるよう、ICTを活用したeスポーツの普及活動を行っています。

小児分野でゲームをあきらめている対象者の方を担当しているOTの方へ是非シンポジウム聴講を家族に勧めて下さい、右記QRコードから田中先生の取り組みが参考になります

PLEASE



堺谷 陽平氏（株式会社ZORGE代表取締役、富山県eスポーツ連合会長）

株式会社ZORGEは富山県に拠点を置く、主にeスポーツのイベント運営事業を行っている会社です。「ToyamaGamersDay」や高齢者向けeスポーツの全国大会など、eスポーツイベントを通じて地域を盛り上げ、魅力を伝える活動を続けており、各種メディアでも注目されているeスポーツ×地方創生の第一人者。



瀧屋 佑弥氏（富山県厚生部高齢福祉課 地域包括ケア推進班）

富山県は自治体でeスポーツを導入した第一人者。2020年度から、高齢者の介護予防や社会参加の促進を目的とした高齢者の通いの場でのeスポーツ体験会を開催。地域でのeスポーツ体験会の定着を支援している。

CHECK 3

技術講座



宮地 竜也先生（富山大学附属病院、PT、心リハ指導士）

高齢化時代のOTにも分野を問わず必須の知識！心不全のフィジカルアセスメント。訪問リハで苦手な疾患第1位の心不全も明日からは心配なし、是非聴講を。

CHECK 4

教育講座

齋藤 洋平氏（南砺市地域包括支援センター、OT）

テーマ「病院から出て分かった、地域と私たちの見方（味方）」

きとつびダンスの生みの親、我が県士会長の講座は必見！

いいお話聴けますよ～。

学会公式

もみてね



演題発表

身障、精神、地域、自励具と興味深い演題ばかり
ポスターも復活！

集まれゲーム白痴OT！
第1回富山県OT士会
eスポーツ大会

COMING SOON

開催時間：昼休憩（メイン会場）
種目：ぶよぶよ（予定）



事前参加登録期間
1/25～2/20

QRコード→
から参加登録
しよう



<https://forms.gle/esZduwNbYmgA4Tb59>

令和5年度の災害研修会に 参加して

ソフィアメディ訪問看護ステーション射水・サテライト高岡

砂道 雄太



近年、毎年のように各地で災害の報道がされています。富山県・近県で災害が起きたとき、作業療法士としてどのような行動・支援ができるのか？心構えをし、少しでも災害への事前準備をしていかなければいけないと思い、今回の研修会を受講しました。講師の方が、JRATの経験・活動をもとにした内容でした。”JRAT”とは、日本災害リハビリテーション支援協会の略であり、リハビリの観点から避難所等で活躍し、生活不活発病や災害関連死を予防するチームです。

避難所となる学校の体育館・公民館などでは、段ボールで仕切られたプライバシーが少ないことや災害への不安、娯楽の欠如により心身のストレス・廃用が進んでしまいます。その中で、作業療法士は暮らしのスペシャリストとしてベッドの設置・環境設定などで過ごしやすい環境の提案や集団アクティビティの活動が紹介されていました。しかし、避難所での支援は勝手に行っていいわけではなく、その場所のルールにのっとって実施することが大切であると感じました。

また、”作業療法士は作業療法士が、助ける”という言葉が、私の中になかった新たな考えでした。被災地の周辺病院や施設でも、家族が避難している状況で自身は通常通りの業務をされている方もいます。被災地で家族への不安が大きい状態で通常

業務を行う事は困難です。もし、職務を代行することによって同じ職種の仲間が助けに来てくれるという頼もしさと安心感が得られ、その方が家族の事に集中できます。実際に避難所に出向くことや倒壊した住居の片付けのみが、災害支援でないと学びました。

余談ですが、近年流行りのトレーラーハウスが被災地での仮設住宅の役割ができる事も驚きました。新型コロナの影響もあり、トレーラーハウスが見直され観光でのレンタル施設やレンタル会社が増えています。一見、災害予防と関係ないと思われる部分からでも考え方を変えれば備えになると感じました。

実際に私たちが住む地域で災害が起こると落ちて行動することは難しいと思います。このような研修を通して、災害のイメージをしておくことが大切であり災害が起きた際に活動できる人材や行政・多職種と協力できる準備をしておくことが重要だと学びました。

令和6年1月1日、能登半島地震が起こりました。私たちの地域ではこのような大きな災害が起こることが珍しく、実際に落ちて行動できた方はどれくらいいたのでしょうか？今回の研修会で学んだことを生かして、今の私にできる活動を実行に移していきたいです。

令和6年能登半島地震 会員安否確認結果報告



災害リハビリテーション委員会
委員長 高林 一彦

令和6年能登半島地震によって、被災されました会員の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

1月1日16時10分頃に地震が発生し、大津波警報が発表されました。沿岸部の市町村の方は戸惑いながらも沢山の方が避難されました。氷見に位置する当施設でも女性のスタッフが数名で1階の入院患者約40名を担いで2階まで誘導しました。県内でも最大震度5強を記録した所は、富山・高岡・小矢部・氷見・南砺・射水・舟橋村と

広範囲に及び断水・家屋の倒壊・液状化現象など各所で多くの被害が見られました。

17時45分頃にメーリングリストにて安否確認の第1報を発信。会員の皆様からはその日のうちに延べ106件の安否報告をいただきました。昨年の秋の訓練では会員の返信率が34.7%だったのが45.7%に上昇し、病院・施設返信率が、66.4%だったのが75.0%にと高い返信率でした。今回、連絡がいただけなかった病院・施設44件にも委員が手分けして電話連絡をし、安否確認をさせていただきました。また、幸いなことに安否を確認ができた会員は全員無事との報告でした。皆様からの多くの安否・被害状況報告に感謝いたしまして、以下その結果を報告させていただきます。

今後ともご協力を宜しくお願いいたします。

■ 安否確認状況 ■

- ・安否確認期間 1/1～1/6
- ・安否報告延べ数335件（病院施設、自宅会員）、会員全員無事、家族被害確認中2件

＜個人回答（実人数）合計総会員652人中、298人から報告があり返信率45.7%＞

地区名	総会員数(人)	連絡数(人)	返信率(%)	地区名	総会員数(人)	連絡数(人)	返信率(%)
高岡地区	158	90	57.0	砺波地区	90	44	48.9
新川地区	91	47	51.6	富山地区	283	105	37.1

* 自宅会員回答数12名（会員数30人、返信率40.0%）

＜病院・施設回答（実人数）病院・施設176件中、132件の報告があり返信率75.0%＞

地区名	総施設数(件)	連絡施設数(件)	返信率(%)	地区名	総施設数(件)	連絡施設数(件)	返信率(%)
高岡地区	45	39	86.7	砺波地区	26	22	84.6
新川地区	27	21	77.8	富山地区	78	50	64.1

■ 被害状況（延べ数） ■

施設被害

- ・被害はあるが病院・施設機能は維持されている114件（延べ）
- ・機能停止1件（その後「被害なし」との報告あり。）

自宅被害

- ・被害はあるが住める66件（延べ）

＜未連絡施設44件に被害状況を電話確認＞

- ・退職または電話が繋がらなくなっている病院・施設5件
- ・その他、会員全員無事39件、施設一部被害ありが7件。
- ・自宅被害1件

* 1月4日以降に会員の安否不明者ありと答えた会員3名に再度連絡し、すべて安否不明者なしと確認。

「根拠に基づいたより専門性を介護予防事業の展開」 に参加して

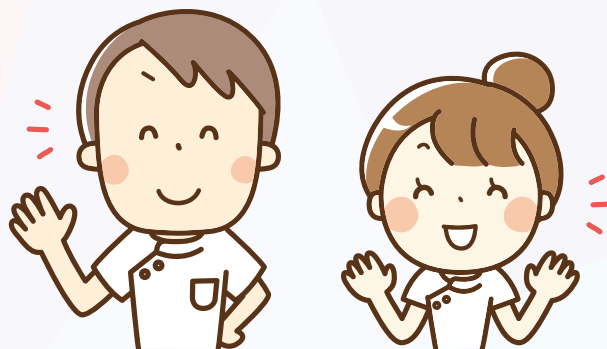
栗山病院 出戸 浩平

12月16日にオンラインで開催された富山県リハ3士会合同研修会に参加させていただきました。

研修は高崎健康福祉大学の解良教授による「呼吸サルコペニア～新しい虚弱的概念、診断、健康アウトカムとの関係～」から始まりました。骨格筋量に関するサルコペニアは普段から意識することが多くありましたが、呼吸サルコペニアという概念は初めて知りました。筋の特性上、呼吸筋の量を正確に評価するのは普段の臨床では難しいのですが、四肢の骨格筋量の減少量から呼吸筋の減少量を推定できるそうです。また骨格筋のサルコペニアの状態にある患者様は、その後呼吸サルコペニアを生じやすいそうです。そして呼吸サルコペニアは様々な不利益を患者様にもたらしめます。その中でも、咳嗽力の低下から誤嚥性肺炎のリスクが増大するそうです。順調に進んでいたリハビリが誤嚥性肺炎で中断してしまうことはないでしょうか？自分はそのような悔しい経験をしたことが何度かあります。今後は呼吸筋トレーニングも勉強して日々の臨床活動に取り入れていきたいと思っています。

研修の後半は富山赤十字病院の赤尾先生による「富山県内の介護予防事業実践報告」でした。認知症家族介護教室での活動についてお話していただきました。認知症の本質にある不安に介護者の前で作業活動を用いて関わり、病的な訴えの繰り返しから患者様個人の生活に関する語りを引き出す実践を聞かせていただきました。これこそまさに作業療法の役割と思い、感動しながらも自分の臨床を振り返るきっかけとなりました。FIMやBIの点数、要介護度の変化など数値化された指標ばかりを意識しがちな毎日ですが、数値化できない安心という指標の重要性を強く意識させられました。赤尾先生の優しい口調の講演を聴きながら、自分が今担当させていただいている認知症の患者様や過去に担当させていただいた認知症患者様の顔が何人も思い浮かびました。反省と学びの多い講演でした。講演後、司会の方も仰っていた通り「刺さる」講演でした。

今回ご指導いただいたことをしっかり臨床に活かしていこうと思います。



当施設は2004年5月に設立され、間もなく設立20周年を迎えます。自然豊かな五箇山の麓にあり、城端の街中からも程近いため、地域の皆様との交流も活発で、日々様々な助けやお声掛けを頂いています。

当施設は入所（定員80名）、通所（定員75名）、ショートステイ、訪問リハビリの4部門があり、いずれもリハビリ職員が関わっています。リハビリ職員は現在PT5名・OT4名の9名で、若手の職員も多数在籍しています。城端は冬の環境が厳しく、独居や夫婦二人暮らしの方も多いため、越冬のために入所し、春を迎えたら退所したいというニーズも多く聞かれます。そのため、在宅生活に戻るためのリハビリ・在宅生活を継続するためのリハビリのどちらでも対応できるよう、リハビリ職同士での連携を強化しているところです。

今年度からの新しい試みとしては、通所部門内に【短時間リハビリテーション】を開始しました。これまでの通所利用者様の声として、集団での生活が苦手なレクリエーションに参加したくない方（特に男性に多い）、1日での利用

が長すぎると感じている方が多く見られたことから、食事・入浴サービスのないリハビリ特化型の2時間コースとして新しく提案したところ、男性女性を問わず好評を頂いています。

短時間リハビリを希望される方は、「なんとか生活はできているけど、もっと〇〇できたらいい」「〇〇できるようになりたい」というような目的意識が強く、本人様や家族様からのフィードバックも明確です。そのため、自宅でもできるような自主トレーニングのメニューを求められることも多いため、リハビリ職としては大変やりがいのある環境となっています。また、現状の短時間リハビリは少人数体制で運営していることもあってか、利用者様同士の仲が非常に良く、お互いに励ましあいながら取り組んでおられています。そのような様子を見るのも、仕事をしていて楽しいと感じます。

今後は更なる試みとして、来年度中の小規模多機能開設を検討しています。新しい体制を地域に根付かせていくためには、これまで以上に地域の皆様の声に耳を傾けなければならないと思いますので、利用者様や家族様だけでなく、出前講座などを通して地域の皆様に関わる機会を増やしていきたいと考えます。職員同士でも、多職種で更に連携を図っていきたいと考えています。





アルペン
リハビリテーション病院

藤平 美結

県士会の皆様こんにちは。同じ職場の先輩である谷口優さんからバトンを受け継ぎ、今回コラムを担当させていただきます。アルペンリハビリテーション病院の藤平美結と申します。今回は私の地元の話をさせていただきます。私の地元は神奈川県二宮町というところです。神奈川県の中では静岡寄り、海側に位置しています。よく職場の方や患者様と話すときに地元の話になると神奈川県って都会だね！神奈川県はどこ？と聞かれますが、二宮町と言ってもなかなか伝わらないので隣街である小田原の近くと言ったりします。神奈川県でも西側は自然豊かなところが多く、海側といっても二宮町は湘南から外れており、都会と言えるところではありません。観光地と呼べるところもなく、スーパーだけはたくさんある場所です。そんな二宮町で私が一番好きな場所は吾妻山とい

う小さな山です。吾妻山は菜の花がきれいに咲くところで、天気がいいと富士山も見えるため菜の花越しの富士山が絶景です。菜の花が咲く季節にはNHKの天気予報のバックで映像が流れたり、ドラマなどの撮影地になったりもします。小さい頃は毎年菜の花が咲く頃に父と吾妻山に登って、ご飯を食べたりお昼寝をしたりするのが楽しみでした。この通り富士山をみて育った私ですが、富山は高い山が連なっており、それもまた違った絶景で大好きです。富山に来てまだ2年ほどですが、自然が綺麗でご飯も美味しくて来てよかったと思える場所です。これからも富山のことをたくさん知りたいと思っています。

次は厚生連高岡病院の大崎優暉さんにバトンを渡したいと思います。よろしくお願いします。



老人保健施設
アルカディア

大杉 真優佳

県士会の皆様こんにちは。福寿園福野デイサービスセンターの野原果鈴さんからリレーのバトンを受け取り、今回のコラムを担当させていただきます。老人保健施設アルカディア氷見に所属している大杉真優佳と申します。

私は、作業療法士として働き始めて4年が経過するところです。現在、認知症専門病棟にて働かせていただいています。認知症と聞くと一般的に物忘れが激しい、介護負担が大きい等マイナスなイメージを持たれる方が多い印象です。実際に認知症の方との関わりを通して、自分の指示が相手にうまく伝わらなかったり、利用者様が思いがけない行動をしたりと大変なこともあります。利用者様が楽しそうにリハビリに参加してくださる様子を見ると嬉しく思います。また、利用者様とコミュニケーションをとりながらリハビリを実施すること

で、利用者様の得意なこと、興味・関心のあることを知ることができます。それを作業療法として導入することで利用者様の意欲向上・心身機能の維持・向上にも繋がるため、とてもやりがいを感じています。

さて、話は変わりますが、コラムのテーマが「趣味・興味のあること」ということで、私の趣味は、友達と旅行に行くこと、愛犬とお出かけすることです。コロナ前は毎年、家族や友人と旅行に出かけていましたが、コロナ禍に入るとなかなか旅行に行けず寂しく感じていました。今年、コロナが感染症5類になったことでようやく念願の旅行に行くことができました。また、去年の8月にシーズー犬を新たに家族として迎え入れました。散歩やお出かけが好きな犬なので休みの日は、お気に入りのドックランや近所の公園に遊びに出かけています。今後も充実したプライベートを過ごし、仕事の効率も上げていきたいと思っています。

最後に、今回受け取ったバトンは老人保健施設アルカディア雨晴に所属している宮前帆花さんにお渡ししたいと思っています。よろしくお願いします。

令和5年度 第6回理事会

日時：令和5年10月19日（木） 19時より

ZOOMによるWEB会議にて開催

出席者：齋藤、松岡、桐山、島津、吉波、渡邊、大平、
丁子、安本、堀口、中山、塚田、水島、能登、
中川、小倉、森

欠席者：

《報告事項》

1. 県士会関連事業
 - 1) 災害委員会
 - ・9月25日 災害訓練。結果報告。
 - ・9月現在の士会員総数 661名。連絡数230名。返信率：35%・病院・施設のカバー率：173病院・施設中、115件から連絡があり66%
 - ・県士会災害研修会：19名参加。
 - ・JRAT研修：OT4名程度参加。
 - 2) 富山県作業療法学会
 - ・進捗状況の確認。9月より演題募集開始し、4演題。理事、監事からも応募の声掛け。
 - ・高岡地区学会長候補 藤井氏（氷見市民病院）承諾。実行委員長 谷口氏（済生会高岡病院）
 - ・演題応募状況等。12演題応募あり。
 - 3) 福利厚生部
 - ・10月8日 ほたるいかマラソンボランティア終了。9名参加
 - 4) 運転と作業療法
 - ・パンフレットの確認中。修正、加筆継続。
 - ・1月25日 運転と作業療法に関する研修会
 - 5) 高齢者支援部会
 - ・研修会開催予定。
2. 富山県関係事業への対応
 - 1) リハビリ専門職団体協議会
 - ・研修会開催予定。関連委員会、部員の参加を声掛け。
 - ・日当について塚田理事より。
 - 2) 富山県フレイル予防フェスタ
 - ・90名をOTブースで対応。謝金手続き済。次年度以降未定であるが、予算計画に含むこと。
3. 東海北陸ブロック事業
 - 1) 東海北陸学会
 - ・日当、交通費等の確認あり。
 - 三重県：役員報酬定額内にて対応。理事2万円。部長、委員長1万円。交通費ブラッシュアップ式。
 - 石川県：会議費 1時間以上の会議は300円/時間。但し、弁当ある場合は、支払なし。交通費 5kmごとに60円。有料道路は交通費支払い。
 - 日当 550円/時間（準備等の時間含む）オンライン含む。
 - 岐阜県：100円/時間を活動費とし、10円刻みで支給。保険の加入。
 - 静岡県：謝金として1,000円+税額。通年の活動の場合は5,000円/年。
 - 交通費は別途支給。弁当無。参加費の割引なし。
 - 福井県：今年度まで無償。次年度より1時間以上3時間未満300円。学会参加費は普通額。
 - ・10月16日 事前登録申し込み開始。
 - ・座長として、護摩堂、森理事。今後、士会から謝金などの支払いなし。
 - 2) 北陸3県MTDLP事例検討会
 - ・打ち合わせ 9/21 zoomにて山本部長、能登参加。
 - ・2月開催予定。各士会1事例ずつ提出。
 - 3) リーダー研修会
 - ・11月26日開催予定。
 - ・吉原氏（谷野呉山）、横田氏（アルカディア雨晴）、高澤氏（あゆみの郷）、浜出氏（つまま苑）、伊東氏（白光苑）。

- ・リーダー（窓口）は、吉原氏内諾。
- ・令和6年度 富山県にて開催予定。令和5年度に事前打ち合わせ開催予定。
- 4. 協会関連事業
 - 1) よんばち
 - ・11月25日開催。齋藤、堀口氏出席予定。
 - 2) OT連盟
 - ・10月7日 安本理事、齋藤他 15名程出席。
 - 3) 協会表彰
 - ・候補者いれば推薦(令和4年度1名推薦したが落選)

《検討事項》

- 1) 財務、総務の時給について
 - ・富山県の最低賃金を参考に、時給950円
- 2) 全体会予定
 - ・12月13日 19時より。ZOOMにて開催。
 - ・内容：事業計画。おおまかな日程と内容については作成
 - ・協会員＝士会員について

令和5年度 第7回理事会

日時：令和5年11月16日(木) 19時より

ZOOMによるWEB会議にて開催

出席者：齋藤、松岡、島津、吉波、渡邊、大平、丁子、
安本、堀口、中山、塚田、水島、能登、中川、
小倉、森

欠席者：桐山、水島、小倉、森

《報告事項》

1. 県士会関連事業
 - 1) 事務局
 - ・富山県作業療法士会のメールを使用したフィッシング詐欺発生。
 - ・京都府警より問い合わせあり。
 - ・県士会員、協会事務局に注意喚起の連絡。
 - 2) 教育部・生涯教育部
 - ・11月25日 現職者選択研修 20名程度の参加を募る予定
 - ・12月16日 事例検討
 - 3) 富山県作業療法学会
 - ・11月10日 会議実施。査読、座長依頼等今後予定。
 - 4) 福利厚生部
 - ・ほたるいかマラソンボランティア 9名。
 - 5) 高齢者支援部会
 - ・11月22日 研修会開催予定。13名。
 - 6) 生活作業療法委員会
 - ・委員長より、各自治体担当へ送付し、協会からのアンケートを回答。
 - ・フレイル予防イベントの様態を、YOU TUBEと県ホームページにて公開
 - ・百塚地域包括より、パンフレットの一部使用依頼あり→条件付きで許可
 - ・富山地区（針原）の介護予防教室への講師派遣依頼あり。→同様の依頼があれば、委員長佐賀氏
 - 7) 福祉用具委員会
 - ・令和6年度 介護ロボットテクノロジーセンターにて、車いすフィッティングの研修会等計画予定。事業計画に入れる。
2. 富山県関係事業への対応
 - 1) リハビリ専門職団体協議会
 - ・研修会開催予定。関連委員会、部員の参加を声掛け。
 - 2) 富山県循環器病対策計画
 - ・11月15日 齋藤出席
3. 東海北陸ブロック事業
 - 1) 東海北陸学会

- ・ブロック役員にて、情報交換会開催予定。(齋藤出席)
- 2) 北陸3県MTDLP事例検討会
 - ・打ち合わせ 9/21 zoomにて山本部長、能登参加。
 - ・2月開催予定。各士会1事例ずつ提出。
- 3) リーダー研修会
 - ・11月26日開催予定。
 - ・リーダー吉原氏(谷野呉山)、横田氏(アルカディア雨晴)、高澤氏(あゆみの郷)、浜出氏(つまま苑)、伊東氏(白光苑)。
 - ・令和6年度 富山県にて開催予定。令和5年度に事前打ち合わせ開催予定。
- 4. 協会関連事業
 - 1) よんばち
 - ・11月25日開催。齋藤、堀口氏出席予定。
 - 2) 保健事業に関する研修会
 - ・塚田氏参加したもの。データなど士会宛に配信。
 - 3) 組織力強化のための協会3役、理事とのミーティング
 - ・協会員＝士会員のための情報交換会を半年間で日程が合う日を設定。
 - ・受ける、受けないを理事会にて検討→12月で決定
 - 4) 職業倫理指針
 - ・15年以上ぶりに改訂され、ホームページに公開。
 - 5) 代議員
 - ・富山県は、齋藤会長、吉波理事、大平理事

《検討事項》

- 1) 全体会
 - ・12月13日 19時より。ZOOMにて開催。
 - ・事業計画について検討。事業計画は切11月末。
 - ・その他説明：協会員＝士会員について、重点活動項目について
- 2) 名簿管理システム
 - ・セキュリティのため、管理会社から数十万円～100万円の見積もり。
 - ・OT協会からのプリンターとPCは今年度まで。次年度以降は、士会で準備が必要。
- 3) 事務局員への給与について
 - ・現在、3名で事務業務。
 - ・令和6年度 1,050円。

令和5年度 第8回理事会

日時：令和5年12月7日(木) 19時より

ZOOMによるWEB会議にて開催

出席者：齋藤、松岡、桐山、島津、吉波、大平、丁子、安本、堀口、中山、塚田、水島、能登、中川、水島、小倉、森

欠席者：渡邊

《報告事項》

- 1. 県士会関連事業
 - 1) 事務局
 - ・県士会保有のスマートフォンが1台故障し、修理が困難なため新たに1台購入。
 - 2) 教育部・生涯教育部
 - ・新生涯学修制度変更に伴う広報や説明。
 - ・生涯教育関連サイトの説明会は2023年3月予定。生涯教育推進委員等で対応。
 - 3) 富山県作業療法学会
 - ・学会ポスターを作成し、各施設に発送予定。
 - 4) 発達部会
 - ・部会内での打ち合わせのため、部会三役で県士会保有のズームアカウントを使用する。責任のある使用を依頼する。
- 2. 富山県関係事業への対応
 - 1) リハビリ専門職団体協議会
 - ・認知症をテーマに介護予防に関する研修会を開催(11月25日)。作業療法士は26名が参加。12月26日に呼吸器サルコペニアをテーマに介護予防に関する研修会を開催予定。
 - 3. 東海北陸ブロック事業
 - 1) リーダー研修会
 - ・各職場や各県士会での課題を共有の上、講義、グループワークを通して解決方法を検討し、今後の臨床や県士会活動の発展に繋げていくことを目的に県士会から5名が参加。吉原氏(谷野呉山病院)、横田氏(アルカディア雨晴)、高澤氏(あゆみの郷)、浜出氏(特別養護老人ホームつまま苑)、伊東氏(特別養護老人ホーム白光苑)
 - 4. 協会関連事業
 - 1) よんばち
 - ・11月25日開催。齋藤、堀口氏出席。報告書、資料添付。
 - 2) リハビリ議員連盟
 - ・12月6日 塚田氏出席。報告書添付
 - 3) 組織力強化のための協会3役、理事とのミーティングについて
 - ・県士会理事、監事を参加メンバーとしてミーティングを実施する。

《検討事項》

- 1) 事業計画
 - ・各部会、委員会の次年度事業計画を確認。
- 2) 全体会
 - ・12月13日 19時より。ZOOMにて開催。
 - ・その他説明：協会員＝士会員について、重点活動項目について
- 3) (一社)日本リハビリテーション臨床教育研究会主催の臨床実習指導者のための臨床教育研修会に、齋藤会長、能登理事参加予定。

■ 会員異動等

種別	氏名	旧所属	新(現)所属	備考
異動	橘 蒼生	介護老人保健施設みどり苑	西能みなみ病院	
異動	鎌仲 志保	介護老人保健施設おおぞら	光ヶ丘病院	
異動	高橋摩裕美	なし	特定医療法人 七徳会	
異動	護摩堂秀之助	済生会富山病院	富山リハビリテーション医療福祉大学校	
異動	戸田 耕平	市立砺波総合病院	サンウェルズPDハウス秋吉	
異動	鳥山萌々華	中村記念病院	なし	
異動・改姓	滝川 賢人	(株)YUU 訪問看護ステーションおうちへ帰ろう	訪問看護ステーションかけはし	旧姓:藤永
改姓	高藤 璃子			旧姓:山口
退会	後藤 有香	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	なし	

令和6年能登半島地震に係る災害支援対策特別委員会

日時：令和6年1月2日（火）15時00分～15時30分

参加者：齋藤会長(特別委員会委員長)、高林(委員長・JRAT)、大平(理事)、渡邊、吉田、林、砂道(以上7名)

開催方法：WEB

<経過>

2024年1月1日(月)

16時10分ごろ 地震発生・大津波警報

石川県能登地方震度7マグニチュード7.6

富山・高岡・小矢部・氷見・南砺・射水・舟橋5強

砺波・滑川・上市・立山・黒部・朝日5弱

魚津・入善4

17時45分ごろ 安否確認第一報の送信

(委員長と検討後に大平発信)

23時13分ごろ 安否状況の確認(高林→理事)

2024年1月2日(火)

01時過ぎ 津波注意報へ切り替え

10時00分 津波注意報の解除

11時00分 安否確認第二報の送信(高林発信)

15時00分 災害支援対策特別委員会の設置・開催

(発災後約24時間経過)

その後震度5以上なし。

食事介助等を考慮し時間設定)

<安否確認状況>

2024年1月2日 15時00分時点

病院・施設会員：175件、自宅会員19件(合計195件)

詳細

- ・被害はあるが、病院・施設機能は維持されている62件、その他被害なし。
- ・ご自宅被害はあるが、住めるが44件
- ・自宅は住めない1件(実家に帰っていて状態が把握できていないことが理由)
- ・その他自宅被害なし。

<各地域の被害状況>

富山：水のにごり、精神科施設の患者が体調不良、救急対応は通常通り

高岡：避難所にいた避難者を救急搬送

砺波：大型ショッピングセンターの閉店、家屋外壁やブロックの崩落、土砂崩れの可能性、道路は問題なし、全40箇所くらいの避難所は今は閉鎖した。

氷見：断水が続いている、道路通行止め、ガソリンスタンドの列(車中泊あり)施設は、天井照明・エアコンの落下。入所者はホールで集合。

新川：朝日は、町内に大きな被害なし。病院はエレベータの停止に伴う食事の運搬。避難所ではないのに住民が避難してその対応に追われた。

※現在ほとんどの避難所は閉鎖したとの情報あり。

<他団体の動き>

富山DMA T：富山DMAT 5隊が石川県で活動中

富山J R A T：なし

富山県リハ協議会：なし

富山県P T士会：

1月2日15時ごと安否確認のメールあり(期限1/5)。

富山J R A Tの協力可能者の収集を行っている。

日本作業療法士協会：

災害対策本部規程の適用を決め、災害対策本部を設置。

見舞メールあり。

※富山J R A Tについて

・富山県と提携が結べていない。

・体制の整備がされていない。

以上より、災害県本部に参加できず。

今は、情報収集に努め、要請があればボランティアとして活動に協力する。

<今後の活動>

・明日、明後日と被害状況が分かってくる。県士会はとりあえず情報収取のみ。

今後、具体的な支援を検討。

・1月2日(火)中に安否確認を報告。今後も数回行う。(高林)

・第二回目の災害支援対策特別委員会を開催予定

・富山JRATへの協力(可能性)

・協会へボランティアの要請(可能性)

<課題>

・安否状況の確認のタイミング

・特別委員会の開催時期

・委員の連絡方法 グループLINEの活用

・富山JRATや協会ボランティアの人員確保

臨時理事会議事録

開催日時：2024.1.15 19:00～19:20

参加者：島津、桐山、渡邊、中川、大平、中山、堀口、水島、塚田、安本、佐々木(第21回富山県作業療法学会会長)

現状報告

学会会場予定としていたサンシップとやま会場が、震災により損壊あり。復旧は、当初の1月中から2月以降も見通しがつかない状況にあると1月12日に連絡があり。このため、2月25日の学会会場としての使用は困難となった。1月13、14日に学会3役会議を行い学会開催について検討した

会場変更について

- ・富山市内にあるサンシップとやまと同等規模の施設の空き状況を確認。
- ・「富山国際会議場、サンフォルテ、教育文化会館、市民プラザ、タワー111スカイホール、ORBIS、婦中ふれあい館」はいずれも空きなし。
- ・富山県民会館が唯一空きあり。

開催日の延期について

- ・サンシップ富山の復旧期日が不明であり、今年度中の同施設での開催は難しいと思われる。
- ・会場変更も含め準備期間としては十分であるが、再び講師等との予定の調整に苦慮すると思われる、また、これまで1年間準備してきたため、ここで延期となることに対する反対の意見が多い。

富山県民会館での開催について

- ・会場担当者に電話で本学会の概要(要望含め)を説明しおおよそ可能であることを確認した。
- ・県民会館から、特別会議場をメインホールとして3F全体を貸し切って実施する方法を提案があり。
- ・委員にて検討の結果、予定していた内容のおおよそが実施できそうだと判断に至った。

懸念される事項について

- ・会場予算については見積もり依頼中であり費用の増加も考えられる
- ・ポスターなど印刷物で発注済のものは修正し再発注となり会員あての郵送が遅れる
- ・駐車場について、当日は県民会館で複数イベントがあり混雑が予想されると案内あり
- ・会場との打ち合わせがやり直しとなるため、詳細まで行き届かず不測の事態も考えられる

決定事項

以下報告し、会場を変更しての学会開催、予算案の変更に関し了承。

学会の会場は、県民会館3階フロアの貸し切りで進める。

編集後記

この度の大規模な地震により、被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。

地震発生時、私自身も息子と離れ離れの中避難していました。後に無事再会することができましたが、その日から息子は強い不安を感じるようになりました。

今私にできることは何だろうか。明確な答えは出ませんが、息子と沢山遊び、抱きしめることから始めようと思います。(k.k)

賛助会員名簿

(順不同)

会 員 名 (代表者)	住 所
学校法人金城学園 金城大学 医療健康学部 (学長 米島 學)	〒924-8511 石川県白山市笠間町1200 TEL 076-276-4400
医療法人社団いずみ会 (理事長 大西 仙泰)	〒939-8075 富山市今泉220 TEL 076-425-1166
富山リハビリテーション 医療福祉大学校 (理事長 青池 浩生)	〒930-0083 富山市総曲輪4丁目 4番5号 TEL 076-491-1177
株式会社 富山県義肢製作所 富山県補聴器センター (代表取締役 森田 忠浩)	〒930-0042 富山市泉町1丁目2-16 TEL 076-425-4279
ライフ・クリエイト株式会社 (代表取締役 北野 満) リハビリ・デイサービス おやべ リハビリ・デイサービス たかおか リハビリ・デイサービス となみ	〒932-0814 小矢部市赤倉207 TEL 0766-67-2001

一般社団法人 富山県作業療法士会事務局より

メーリングリスト登録のお願い

現在、メールを通じて、ホームページや施設宛ての発送以外に多くの情報を配信しています。
これまでに、多くの会員の方に登録していただきました。
登録がお済でない方は、登録をお願いします。

■対象

一般社団法人 富山県作業療法士会会員

■配信内容

- 協会や県士会が主催する研修会の開催や変更に関するお知らせ
- 作業療法に関する情報（制度改定や最新情報等）
- 災害時の緊急連絡や情報提供
- 協会や県士会からの事務的な連絡
- その他作業療法に有用な情報 等



富山県作業療法士会
会員ML(メーリングリスト)登録
<https://forms.gle/o9XmsZc8cK7yyG8XA>

